

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 8, 事業名, 海外展開支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 4, 施策名, 地域外に活路を見出す販路拡大支援の充実

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

人口減少や少子高齢化による地域市場の縮小に対応するためには、商談会や物産展等への効果的な出展支援等により、国内外を問わず広く活路を見出していくことが求められている。

2. 事業のねらい

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携による支援メニューのパッケージ化、県・市町村や金融機関との連携による商談会、見本市等への出展支援など他の支援機関との連携による支援策を展開する。

3. これまでの評価結果

Table with 8 columns: 過年度, H29, -, H30, C, R1, B, R2

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携による希望者の掘り起こしと、希望者に対する商談会等の情報提供を行ったことにより、新たな商談会への出展につながるなど一定の成果を上げた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

県内商工会地区の海外展開希望者の掘り起こしを図るため、JETRO及び秋田県貿易促進協会との連携を強化する。また、県内商工会ネットワークを活用し、商品を海外へ販売する仕組みを検討するため、既に海外展開に取り組んでいる事業者とのマッチングを行う。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows 16 and 17 are filled with data.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for detailed performance metrics, including 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

コロナ禍という状況にあっても、地域市場の縮小、インバウンドの増加といった経済情勢を考えれば、海外展開による市場開拓は今後ますます重要となってくることから、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) c

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携により支援先企業の掘り起こしを行っているが、新型コロナウイルスの影響により計画に沿った取組が行えず、目標達成には至らなかった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) c

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携により、役割分担化が明確化されたことから、商工会における情報収集の時間が大幅に短縮されるなど、時間的コストの削減における貢献度は高い。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 C

コロナ禍で展示会や商談会といった事業が大幅に制限され、当初の計画がほとんど実行できなかった。

3. 課題

ウィズコロナにおける海外展開をスタートさせる仕組みの構築が必要である。また、会員事業者や経営指導員の理解を深めるため、双方の知識・スキル向上を図らなければならない。

4. 今後の対応方針(改善点)

コロナ禍により海外展開の実施が難しい中において、秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携を強化し、商談会やインターネット販売など、参加可能な事業を検討する。